

ルイズ「宇宙の果てのどこかにいる、私の下僕よ！強く、美しく、そして生命力に溢れた使い魔よ！
私は心より求め、訴えるわ。我が導きに応えなさい！」

ドカーン！

ルイズ「やった、成功したわ！」

抜作「いきなり尻見せ！」

ルイズ「みせるなあ！」ドカーン！

抜作はルイズに吹っ飛ばされました。

翌日・・・

抜作「それでは授業を始めます」

ルイズ「なんでアンタが先生をやってんのよ！」

抜作「うるさい、文庫小説で深夜アニメのくせに。こっちは週刊誌連載でフジの土曜ゴールデンタイム放送だぞ！」

ルイズ「ワケ分かんない事言ってるじゃ無いわよ！」

抜作「では授業を続けます」

ルイズ「聞きなさいよ！」

抜作「錬金のお手本をみせるので後でみなさんにもやって貰います」

むむむむむむ・・・パァーン！

抜作の頭が爆発しました。

抜作「では、ルイズさん、やってみて下さい」

ルイズ「出来るかぁ！」

予告状

魔法学院様へ

今夜、宝物庫にある不老長寿の巻物を
盗みに参上します。

怪盗とんちんかん

オスマン「おのれ、怪盗とんちんかんめ！」

コルベール「ノリノリですな」

オスマン「そうでも無いわい、えらく久々なセリフでけっこうドキドキだったんじゃぞ」

『あーはっはっはっは！』

オスマン「何者じゃ！」

『微熱のレッド！』

『風雪のシロン...』

『青銅のグリーン！』

『『『怪盗・とんちんかん、参上！』』』

抜作「そして私がリーダーです」

ルイズ「あっ、怪しい・・・」

オスマン「ええい、衛兵ども、とんちんかんを捕まえるのだ」

衛兵「「わーっ」」

ドカ、バキ、グシャ、

オスマン「ええい役立たずの衛兵どもめ、予定通りにやられおって！こうなればワシ自ら・・・はっ、アナタは！」

抜作「キミは！」

オスマン「先生！」

抜作「オスマン君！」

オスマン「いやあ、懐かしいですねえ先生、300年ぶりでしょうか・・・」

抜作「ところでオスマン君」

オスマン「はい、何でしょう先生。」

抜作「不老長寿の巻物を下さい」
オスマン「はい、どうぞ」

レッド「ね、リーダー、巻物にはなんて書いてあるの？」
シロン「……。」

『長生きの方法
死ななければよい』

グリーン「は？」
シロン「……。」

抜作「はっ、しまった。これは私が昔書いたものだった！」